

行政視察

研修報告 (7月24日～7月25日)

茨城県茨城町 ～移住定住政策(三世代が共に輝く元気交流空間)について

全国町村会ホームページで紹介 いばらきまち未来への道しるべ ～三世代が共に輝く元気交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち～

定住コンシェルジュやオンライン移住相談、移住者の個性や生活感の違いから、行政に対しての多様な要望などを伺い、約10年間で24組70人転入増の実績や「茨城町ふるさと元気づくり推進事業」について取組の説明を受けた。



移住定住や結婚支援など30事業を広域的に連携しながら実施しており、大いに参考にすべき先進事例であったと思われます。
管原研治議長

近隣の市町村との連携で事業を展開しているのが参考になった。
今野三喜男副議長

人口が多いせいか一世帯あたりの補助金額が少ないように感じた。
高橋茂美議員

移住者と地域住民との交流やコミュニケーションの充実が必要だと感じた。
吉田修議員

専従職員のサポートに感銘を受けました。町の文化継承ワークショップの解説など人口減少対策の重要性を改めて認識した。
五十嵐敏夫議員

先進事例を政策的に導入し、当町の魅力を発信する工夫が必要と改めて認識した。
渡部英幸議員

「定住コンシェルジュ」「集落支援員」など行政主体ではなく共に運営されていると感じた。
高橋さく子議員

他自治体の実践例を知ることで本町の課題を再認識しました。
高橋浩之議員

茨城県大洗町 ～議会広報誌の編集と発行について

令和3年度全国町村議会広報表彰 奨励賞 編集・デザイン部門

議場内の撮影方法や、議会だより作成に関する問題点、編集会議の役割分担等について伺った。さらに、議会懇談会の実施方法や効果などについても説明を受けた。



町民との懇談会やアンケートを積極的に活用し、議会としての積極性を強く感じることができました。
管原研治議長

広報誌を横書きにするなど見やすい工夫が感じられた。
今野三喜男副議長

試行錯誤を繰り返して町民にいかに情報が伝わりやすいか努力していることに感銘を受けた。
高橋茂美議員

本町の広報委員会も効率のよい工程と工夫した紙面づくりが必要と感じた。
吉田修議員

ICT化が進んでいて、タブレットの活用や議会のライブカメラ活用にて、全町民が把握できるシステムが素晴らしいと感じた。
五十嵐敏夫議員

町民との懇談会は議員が2班に分かれ、町民の要望を聞いて開催していることが素晴らしいと思った。
渡部英幸議員

当町としても積極的な情報発信力の機能強化について取り組んでほしいと感じました。
高橋さく子議員

多くのヒントや新しい発想を得られ、今後見やすい広報を目標にしていきたいと思います。
高橋浩之議員